

県議会

題字は、大分県立大分舞鶴高等学校
3年 和田 佳奈さんの作品です。



おおい



▶ごあいさつ	1
▶新議員誕生	2
▶平成23年 第1回定例会	4
▶県議会 今後の動き	6

初議会の議場

ごあいさつ



大分県議会議長
志村 学



大分県議会副議長
井上 伸史

県民の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私どもは、先の第1回臨時会におきまして、議長、副議長という大役を仰せつかり、責任の重大さを痛感しております。

本県では、若者から高齢者まで全ての県民が、安心、安全で、夢と希望にあふれる大分県の創造をめざして、様々な課題に取り組んでいます。

このような中、東日本大震災による景気や雇用などへの影響に即応しつつ、防災対策の確立や少子高齢化対策、社会資本整備など幅広い県民の要請にこたえていかなければなりません。

県議会といたしましては、なお一層、政策立案機能の充実に努めるとともに、九州、全国の議会とも連携をとりながら関係機関に働きかけるなど、執行部と車の両輪

となつて、課題の早期解決、実現に努力してまいりたいと考えております。

同時に、執行機関をチェックすることも大切な県議会の役割でありますので、チェック機能のさらなる強化にも取り組んでまいります。

また、意思決定に当たっては、各党派との連携調整を密にして、円滑な議会運営に努めてまいります。

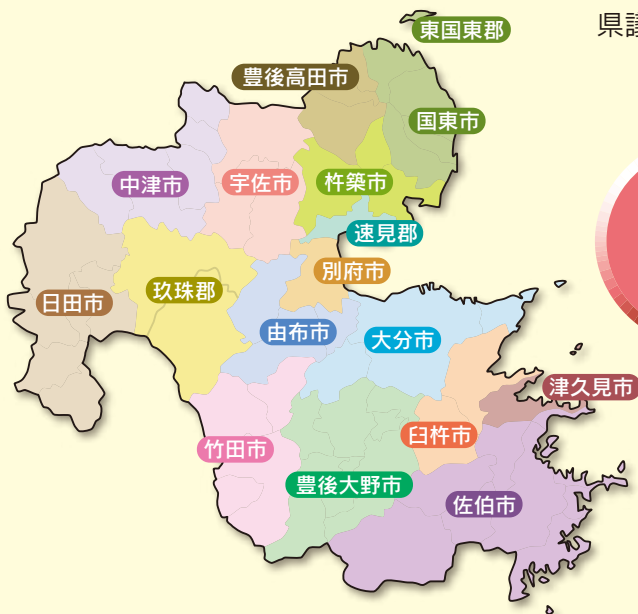
最後になりましたが、円滑な議会運営に努めることはもとより、県議会活性化のため、さらには大分県の発展のため、誠心誠意努力してまいり所存でありますので、皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

県議会ホームページ
<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

大分県議会

〈編集〉大分県議会事務局
 大分市大手町3丁目1-1
☎097-506-5036
(ダイヤルイン)
FAX 097-506-1785





新議員誕生

去る4月10日に県議会議員選挙が行われ、16選挙区から44人(初当選12人、再選32人(元職含む))の議員が誕生しました。

今期の任期は平成23年4月30日から平成27年4月29日までの4年間です。

大分市



県民クラブ
首藤 隆憲



県民クラブ
竹内 小代美



県民クラブ
小嶋 秀行



県民クラブ
藤田 正道



県民クラブ
守永 信幸



自由民主党
無所属の会
淵 健児



自由民主党
無所属の会
麻生 栄作



自由民主党
無所属の会
油布 勝秀



自由民主党
無所属の会
阿部 英仁



日本共産党
堤 栄三



公明党
河野 成司



公明党
吉岡 美智子



県民クラブ
平岩 純子

別府市



公明党
戸高 賢史



自由民主党
荒金 信生



県民クラブ
原田 孝司



自由民主党
無所属の会
牧野 浩朗



自由民主党
無所属の会
嶋 幸一

中津市



自由民主党
大友 一夫



県民クラブ
馬場 林



自由民主党
無所属の会
毛利 正徳

平成23年第1回臨時会

改選後初の臨時会を5月16日から17日に開催した。正・副議長や各常任委員会委員の選任を行ったほか、副知事の選任の同意や東日本大震災への支援に関する補正予算の承認など、知事提出議案5件を原案どおり可決・承認した。

各委員会等の構成

●印は委員長、●は副委員長

(平成23年5月現在)

常任委員会

総務企画委員会(7人)

●濱田 洋 ●深津 栄一

土居 昌弘 田中 利明

守永 信幸 小野 弘利

荒金 信生

福祉保健生活環境委員会(8人)

平成23年第1回定例会

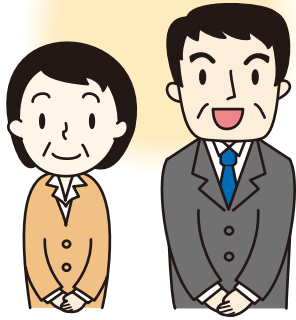
2月23日に開会、3月15日まで
の会期21日間で開催した。

3月7日から3日間にわたり行
われた一般質問では、12人の議員
が登壇し、T P P（環太平洋パ
ートナーシップ）の問題や今後の県
政運営などについて執行部と活発
な議論が展開された。

各常任委員会は、10日に開催し、
付託された議案等について慎重な
審査を行った。

最終日には、11日に発生した東
日本大震災での犠牲者へ黙祷を捧
げるとともに、被災された方々へ
全力で支援を行うとする決議を追
加提案、全会一致で可決し、任期
最後の定例会を閉会した。

今定例会では、知事提出議案60
件、議員提出議案7件及び委員会
提出議案2件を原案どおり可決、
請願は3件を採択、1件を不採択
とした。



一般質問



公明党
竹中万寿夫議員

▼ T P Pについて
▼ 医療費の助成制度



県民クラブ
賀来和紘議員

▼ 世界遺産登録の取組
▼ 豊前海漁業の再生



自由民主党
三浦公議員

▼ 次世代育成支援対策
給与制度等



県民クラブ
江藤清志議員

▼ 高齢化問題
▼ 老人クラブの活性化



自由民主党
毛利正徳議員

▼ 企業誘致
▼ 水産資源の確保



自由民主党
土居昌弘議員

▼ 障がい早期発見
▼ 新規就農者確保対策



県民クラブ
梶原九州男議員

▼ 地域主権改革と九州広域行政機構
市町村合併と権限移譲



自由民主党
嶋幸一議員

▼ 県内景気の認識と対策
▼ 別府湾を拠点とした観光振興



自由民主党
麻生栄作議員

▼ 将来を見据えた政策
▼ 大学キャンパスを中心部へ



県民クラブ
内田淳一議員

▼ 県政について
▼ 教育行政



自由民主党
佐藤健太郎議員

▼ 水産振興
▼ 教育の再生



自由民主党
古手川茂樹議員

▼ 環太平洋戦略的経済連携協定
▼ 県財政について

※質問項目は、一人2項目を掲
載しています。

問 九州広域行政機構の
設立を通じて、これか
らの九州地域全体の発展の可
能性や、その中で大分県の将
来像についてどのように考え
ているのか？

答 九州広域行政機構は、
国が出先機関廃止を拒む
状況を地方から打破するため、出
先機関の仕事や人員、財源等を「丸
ごと」受け取るという大胆な提案
をしたものである。

機構が実現すれば、国の出先機
関の仕事が大臣に代わって、住民
の代表として知事連合会議が指揮
監督をし、議会代表者会議が

チェックをすることにより、地域のニーズを迅速かつ的確に反映した事業の実施、無駄を省いた効率的な運営などが期待できる。

九州の発展の可能性であるが、九州は、面積・人口とも日本全体のおよそ1割を占めていながら、GDPでは8.7%、このうち製造業は7.1%に過ぎず、まだまだ伸びしろが十分あると考える。また、農林水産業が全国の約2割の生産シェアを占めていることや、九州と地理的に近いアジアが著しい成長を続けていることは、九州の大きな強みであると考ええる。

今後、アジアの活力を取り込みながら、九州ワイドの成長戦略を実現していくことが、ひいては大分県の発展にも繋がるという大きな視野に立って考えていくことが大事ではないかと思う。

問

教員採用選考試験の贈収賄事件について、多くの県民は必ずしも、はじめがついたとは理解していないように思われるが、どのように考えているのか？

答

この事件が、教育行政に対する県民の信頼を著しく失墜させたことについては、大変

申し訳なく思っており、改めてお詫び申し上げます。

事件発生後、教育委員会が行政機関としての権限と責任の下で徹底的な調査を行い、結果は全て報告書に記載し公表するとともに、関係者27人に厳正な処分を行った。教育委員会としては、二度とこのような事件が起こらないよう徹底した改革を進め、責任と権限が明確で透明性の高い教育行政システムの構築に努め、出来る限りのことは、迅速に、かつ着実にやってきたと考えている。

大事なことは、将来にわたってこの事件を決して風化させないことであり、教育委員会が先頭に立って、引き続きあらゆる視点から徹底的な改革を不断に進め、教育の再生を図ることである。県民の願いは、子どもの学力や体力を向上させ、豊かな心を育み、教育の実をあげることであり、このような県民の期待に応えていくことが、教育委員会の果たすべき責任であると考えている。

**可決・承認された議案（議員提出）
条例関係（2件）**

▼大分県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部

改正について

▼大分県がん対策推進条例の制定について

意見書（4件）

▼一般医薬品のインターネット販売に反対する意見書

▼尖閣諸島領海侵犯事件の不起訴処分抗議し、万全の領域警備を求める意見書

▼がん治療費の軽減を求める意見書

▼若者の雇用対策の更なる充実を求める意見書

決議（1件）

▼東北地方太平洋沖地震で被災された方々への支援を行う決議

**可決・承認等された議案
（委員会提出2件）**

▼環太平洋パートナーシップ（TPP）交渉に関する意見書

▼「脳損傷者支援法」（仮称）の速やかなる制定を求める意見書

採択された請願（3件）

▼TPPの参加に反対する意見書の提出について

▼環太平洋パートナーシップ（TPP）交渉への参加反対に関する意見書の提出について

▼脳損傷者支援法（仮称）の速やかなる制定を求める意見書の提出

について

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

**可決・承認等された議案
（知事提出）**

予算関係（29件）

▼平成22年度大分県一般会計補正予算（第6号）

条例関係（18件）

▼大分県福祉のまちづくり条例の一部改正について

▼大分県就農支援資金特別会計設置条例の制定について

その他（13件）

▼大分県男女共同参画計画の策定について

議案名等は
県議会ホームページに
掲載しています。



大分県がん対策推進条例を制定しました



がんに関する
予防

早期
発見

医療の
向上

県議会では、県勢の発展と県民福祉の向上を目的として、県独自の政策を進める条例を議員提案により積極的に制定しています。

平成22年度は、がんに関する予防や早期発見、医療の向上などのがん対策を推進する「大分県がん対策推進条例」の制定について協議・検討を行い、議員提出議案として平成23年第1回定例会に提案し、全会一致で可決されました。

この条例は平成23年4月1日から施行されました。

条例の 目的

がんが県民の疾病による死亡の最大の原因となっており、県民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状から、がん対策に関し、県の責務並びに市町村、保健医療機関、県民及び事業者の役割を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見の推進、がん医療に関する施策の基本的な事項について定めることにより、県民の視点に立ったがん対策を総合的に推進することを目的とする。

▼平成23年第2回定例会の日程(予定)
7月7日(木) 開会

県議会 今後の動き



写真中央は広瀬知事と瀧前副議長

永年にわたり、県政の発展にご尽力いただいた9人の議員が勇退されました。

古手川 茂樹 議員(自由民主党・7期)
佐藤 健太郎 議員(自由民主党・3期)
安部 省祐 議員(自由民主党・5期)
内田 淳一 議員(県民クラブ・5期)
賀来 和紘 議員(県民クラブ・3期)
梶原 九州男 議員(県民クラブ・3期)
竹中 万寿夫 議員(公明党・4期)
伊藤 敏幸 議員(公明党・2期)
高村 清志 議員(無所属の会・3期)

勇退議員

県議会 ホームページ

大分県議会 で 検索

大分県議会 <http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

本会議の生中継・録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会のしくみと役割など様々な情報を掲載しています。

お問い合わせは **県議会事務局各課** まで

- 総務課 ▶ 議会庶務、情報公開 など ☎097-506-5019
- 議事課 ▶ 本会議、常任委員会、傍聴 など ☎097-506-5022
- 政策調査課 ▶ 調査業務、特別委員会、議会広報 など ☎097-506-5035

- ▼ 7月14日(木) 15日(金) 本会議(代表質問)
- ▼ 7月19日(火) 21日(木) 本会議(一般質問)
- ▼ 7月22日(金) 予算特別委員会
- ▼ 7月25日(月) 27日(水) 予算特別委員会
- ▼ 7月28日(木) 予算特別委員会
- ▼ 8月1日(月) 常任委員会
- ▼ 8月3日(水) 閉会

点字版

音読版

「県議会おおいた」のご案内

本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで